

◎セファドール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ジフェニドール塩酸塩 Difenidol Hydrochloride 【分類】 抗めまい剤

【単位】 ◎25mg/錠

【常用量】 75～150mg/日

【用法】 分3

【透析患者への投与方法】 添付文書では禁忌になっているが該当する文献なく詳細は不明（腎障害患者へ投与された報告も腎障害患者での副作用報告もない）75mg/日投与でも中毒性の副作用はほとんど起こっていない（5）

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要はないと思われる（5）

【特徴】 めまい例にみられる椎骨脳底動脈の攣縮を緩解して、血流異常を改善し患側と健側のアンバランスを是正する。めまいを前庭性視床下部で遮断・抑制し中枢における平衡系のアンバランスを改善する。鎮静、抗ヒスタミン作用はなく、弱い末梢性抗ムスカリン作用がある。主に内耳障害に基づくめまいの亜急性期に用いる。平衡機能の改善効果は認められていない。

【主な副作用・毒性】 ふらつき、過敏症、口渇、嘔吐、傾眠、眼調節障害など。

【安全性に関する情報】 抗コリン性の副作用に注意（1）

中毒症例におけるアセチルコリンエステラーゼの高値を伴う脳浮腫（Zhang L, et al: Forensic Sci Med Pathol 2015 PMID: 26481789）

中毒時には抗コリン性の症状が出現する（Yang CC, et al: J Toxicol Clin Toxicol 1998 PMID: 9541039）

【tmax】 1.5～3hr (U) 1.6hr (1)

【代謝】 肝代謝され、グルクロン酸抱合される [ラット] (1) 水酸化、酸化、脱水、N-脱アルキル可、メチル化、グルクロン酸抱合などにより代謝（Yang L, et al: Drug Test Anal 2021 PMID: 33554459）

【排泄】 主に腎排泄、経口投与した内のほとんどが3～4日以内に排泄される (U) 尿中及び胆汁中に大部分が代謝物として排泄 [ラット] (1)

【t1/2】 4hr (U) 6.5hr (1)

【Vd】 6L/kg（動物）(1)

【MW】 345.91 [salt]

【透析性】 不明 (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない

【pKa】 9.5 (1)

【主な臨床報告】 4週間の治療によるめまいによる諸症状改善効果はベタヒスチンより優れていた（松田和徳, 他: 耳鼻と臨床 59: 115-21, 2013）

【更新日】 20240821

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。